



平成26年9月  
内閣府沖縄総合事務局

### リゾートウエディングに関する調査について

沖縄総合事務局では、我が国の婚姻件数が減少傾向にあるなか、「沖縄リゾートウエディング」の課題等を把握し、その持続的な発展に向けた調査を行いました。

本件に関する問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局総務部調査企画課

担当：具志、宇座

Tel：098-866-0047

## I. はじめに

リゾートウエディングは、国内・海外のリゾート地で行われる結婚式のことで、国内では、沖縄県をはじめ、北海道、軽井沢（長野県）、海外ではハワイ、グアムなどが有名どころとなっています。

質の高い観光・リゾート地の形成に資する取り組みの一つとして、リゾートウエディングなどの新たな沖縄観光の魅力に関するプロモーションの展開により、一定の成果を上げています。（沖縄振興の現状と課題（平成22年8月 内閣府沖縄担当部局））

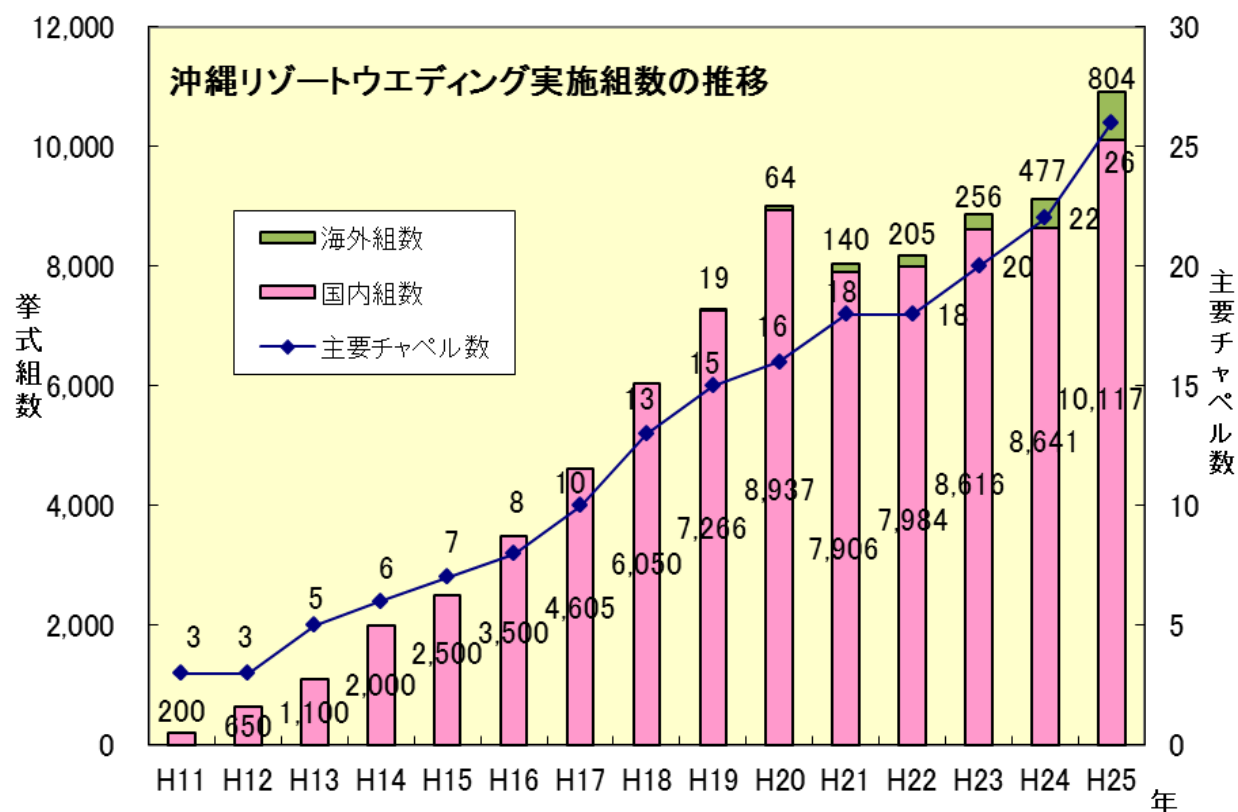
沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課の統計においても、「沖縄リゾートウエディング」<sup>(※)</sup>は、統計を取り始めた平成11年の実施組数200組から平成25年には10,921組となり、目標の10,500組を達成し、順調に推移しています。

一方で、我が国における婚姻件数は、少子化による若年層の減少、未婚率の上昇などを背景に、平成24年は若干の増加があったものの、ここ10年程度では減少傾向を示しています。

沖縄総合事務局では、我が国の婚姻件数が減少傾向にあるなか、「沖縄リゾートウエディング」の課題等を把握し、その持続的な発展に向けた調査を行いました。

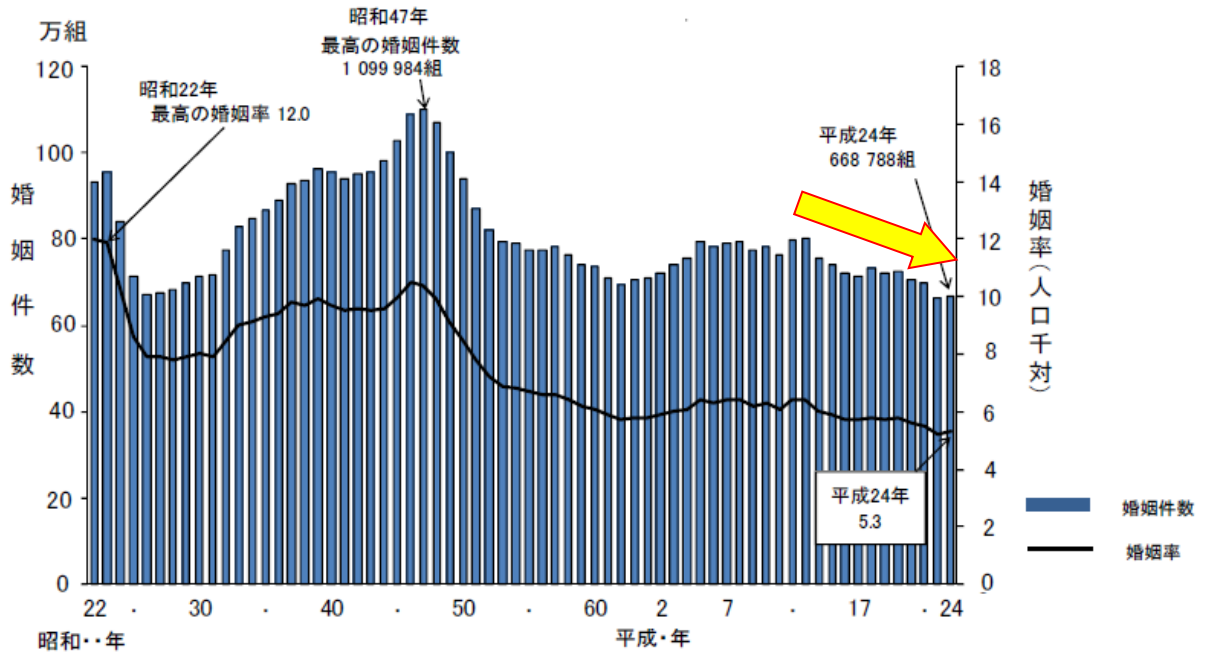
(※)「沖縄リゾートウエディング」とは、県外及び海外に在住する新郎新婦が、挙式、披露宴、フォトウエディングなどで来県し結婚式を行うウエディングスタイルのこと。

(図表1) 「沖縄リゾートウエディング」実施組数の推移



(資料) 沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課

(図表 2) 婚姻件数及び婚姻率の年次推移



(資料) 厚生労働省

## II. リゾートウエディングに関する調査

### II-1. WEBによるアンケート調査（以下、WEBアンケート調査）

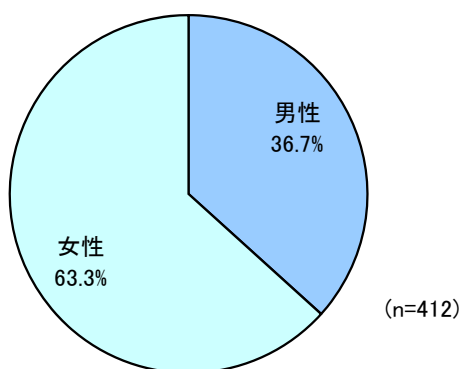
- (1) 調査期間 平成26年6月27日（金）～28日（土）
- (2) 調査対象 標本数412（沖縄県外在住で、沖縄でリゾートウエディングを挙式したことがある方で20歳以上の男女（該当者数））  
なお、本調査は、(株)ケー・シー・エスに委託して実施。

#### 1. 属性

##### 1-1. 性別

412サンプルの内訳は、男性が36.7%、女性が63.3%となっており、女性の割合が高くなっています。

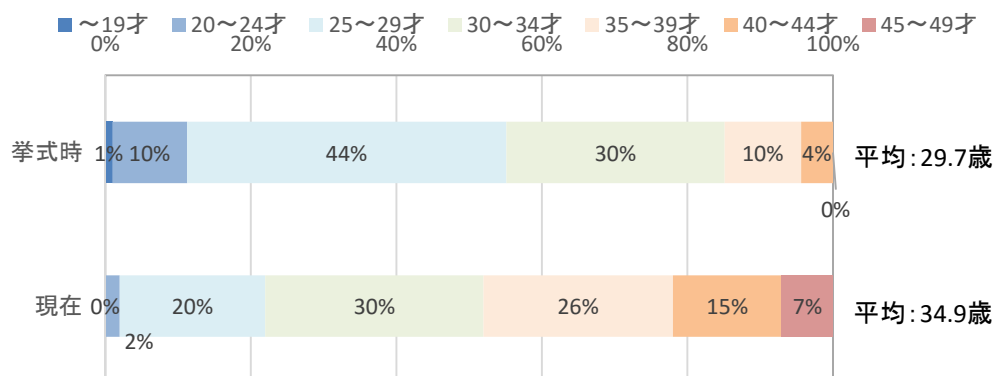
(図表3) 回答者の性別



##### 1-2. 年齢

- ・挙式時の年齢構成は、「25～29歳」が44%、次いで「30～34歳」が30%と多く、30歳前後の年代で全体74%を占めています。
- ・挙式時の平均年齢が29.7歳、現在の平均年齢が34.9歳であり、結婚時期は平均で現在の約5年前となります。

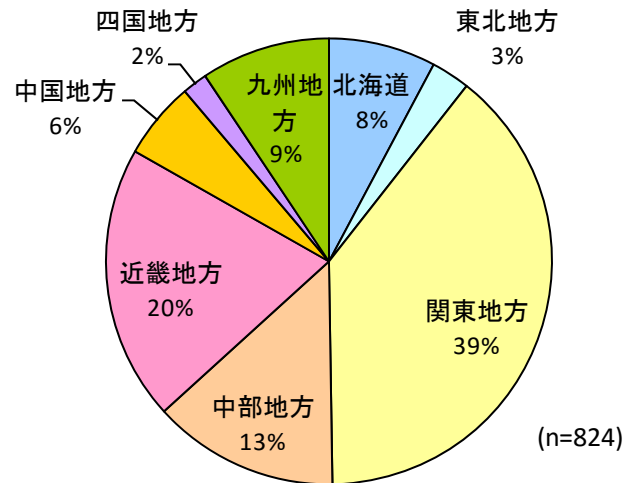
(図表4) 回答者の年齢



### 1-3. 検討時の居住地

- 検討時の居住地は、「関東地方」が39%と最も多く、次いで「近畿地方」20%、「中部地方」13%の順になっています。(新郎・新婦の合計)

(図表5) 検討時の居住地 (新郎・新婦合計)



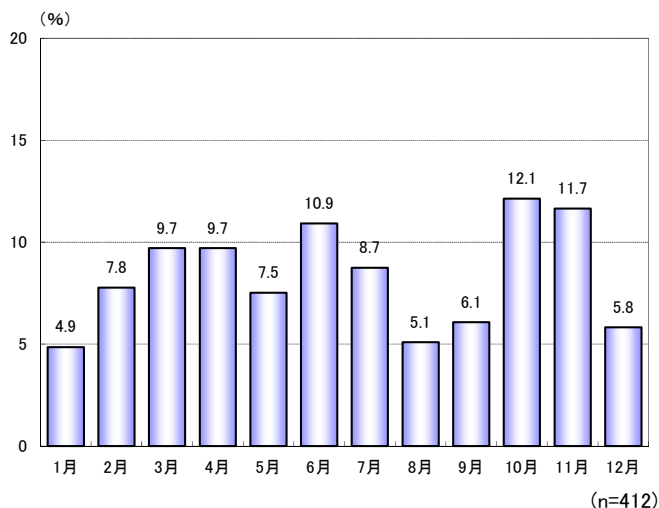
新郎、新婦それぞれの居住地は、合計とほぼ同じ。

## 2. リゾートウエディングの実態

### 2-1. 挙式の時期

- ・挙式の時期を月別で見ると、暑さが少し和らぐ10月、11月がそれぞれ12.1%、11.7%と多く、その他ではジュンブライドにあたる6月が10.9%と多くなっています。
- ・一方、暑さが厳しい8月、9月、年末年始の12月、1月は5%前後にとどまっています。

(図表6) アンケート回答者の月別の挙式状況

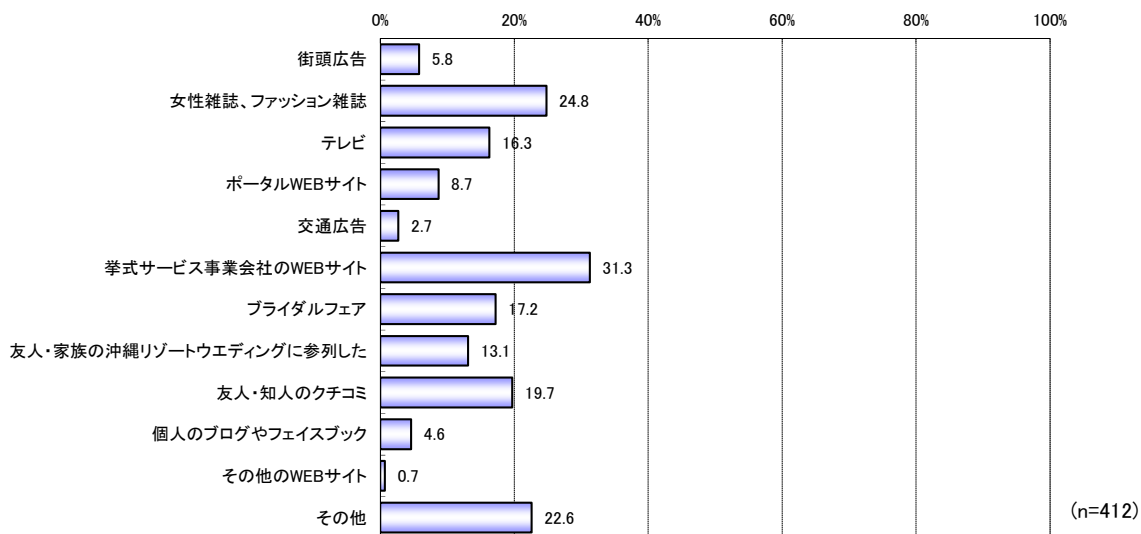


### 2-2. 挙式を沖縄で決めた理由

#### (1) リゾートウエディングのきっかけ

- ・リゾートウエディングのきっかけとしては、「挙式サービス事業会社のWEBサイト」が31.3%と最も多く、「女性雑誌、ファッション雑誌」が24.8%、「友人・知人のクチコミ」が19.7%、「ブライダルフェア」が17.2%となっています。
- ・「その他」22.6%の主な内容として「夫または妻の希望」「沖縄が好きだから」「親が沖縄出身だから」「家族と旅行もしたかったから」などがあげられています。

(図表7) 挙式のきっかけ

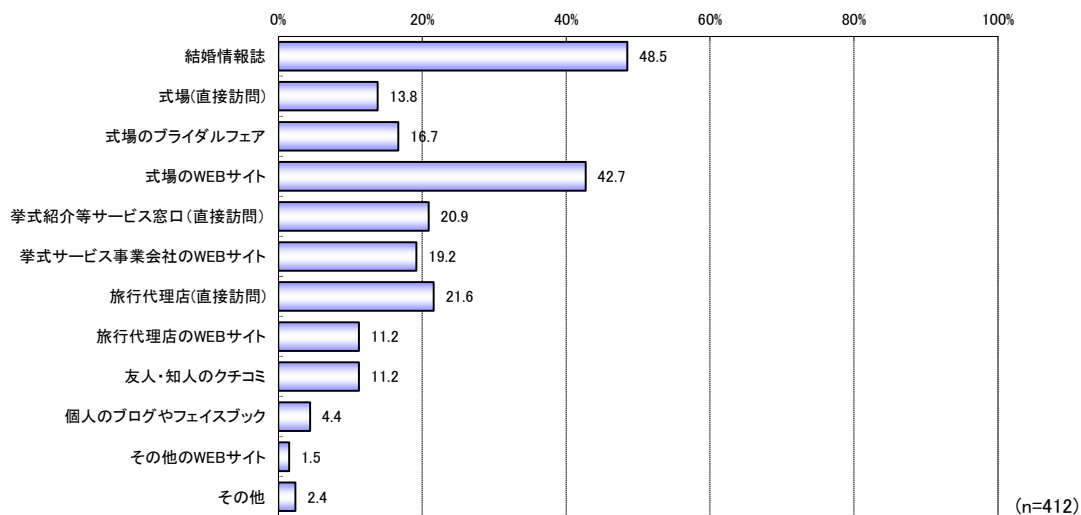


※複数回答、比率は回答者に対する割合

## (2) 式場の情報源

式場を調べた情報源としては「結婚情報誌」48.5%、「式場のWEBサイト」42.7%が多く、「旅行代理店（直接訪問）」21.6%、「挙式紹介等サービス窓口（直接訪問）」20.9%、「挙式サービス事業会社のWEBサイト」19.2%となっています。

(図表 8) 式場の情報源

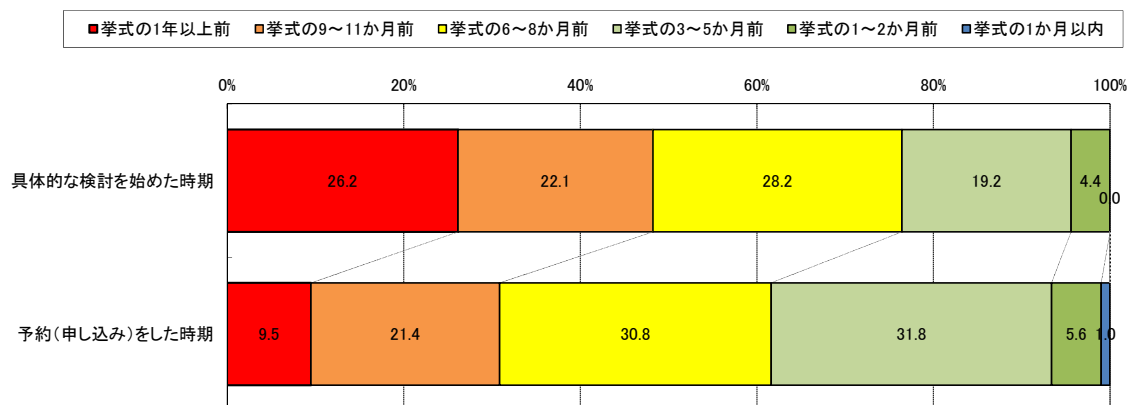


※複数回答、比率は回答者に対する割合

## (3) 検討時期

- ・具体的にリゾートウエディンを検討し始めた時期は、「挙式の6～8ヶ月前」が28.2%と最も多く、「挙式の1年以上前」から検討していた方も26.2%と約1/4となっています。
- ・予約を行った時期は「挙式3～5ヶ月前」が31.8%、「挙式の6～8ヶ月前」が30.8%と多くなっています。
- ・「挙式の1年以上前」に予約をした方が9.5%いる一方で、「挙式1～2ヶ月前」、「挙式1ヶ月以内」と直前に予約した方も6.6%となっています。

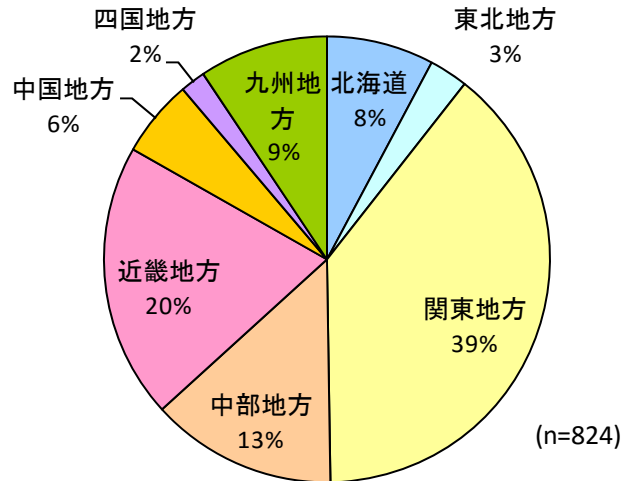
(図表 9) 検討時期



【再掲】（４）検討時の居住地

検討時の居住地は、「関東地方」が39%と最も多く、次いで「近畿地方」20%、「中部地方」13%の順に多くなっています。（新郎・新婦の合計）

（図表５）検討時の居住地（新郎・新婦合計）



新郎、新婦それぞれの居住地は、合計とほぼ同じ。

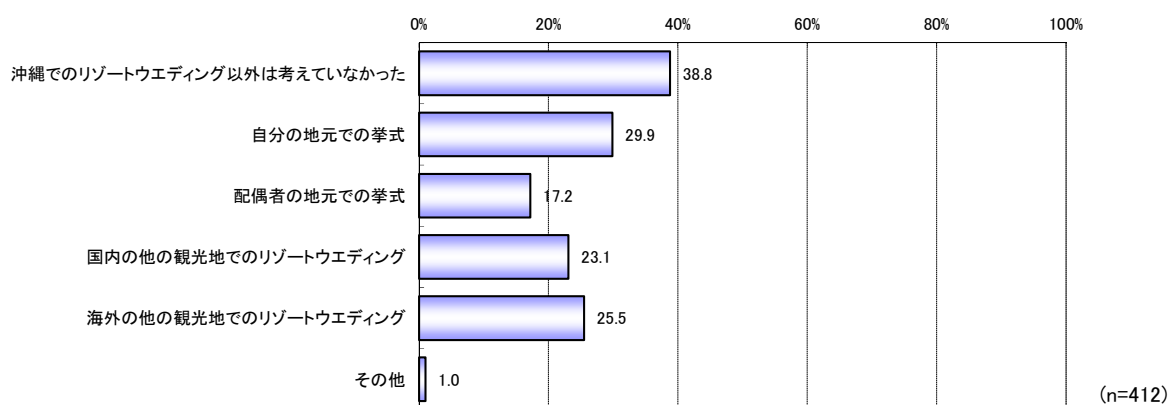


## (5) 検討状況

### ① 挙式の候補地の検討

- ・ 沖縄でリゾートウエディングを挙げた方の 38.8%は「沖縄でのリゾートウエディング以外は考えていなかった」と回答しており、沖縄での挙式意向が高いことがうかがえます。
- ・ 沖縄以外では「自分の地元での挙式」が 29.9%、「海外の他の観光地でのリゾートウエディング」が 25.5%、「国内の他の観光地でのリゾートウエディング」が 23.1% となっています。

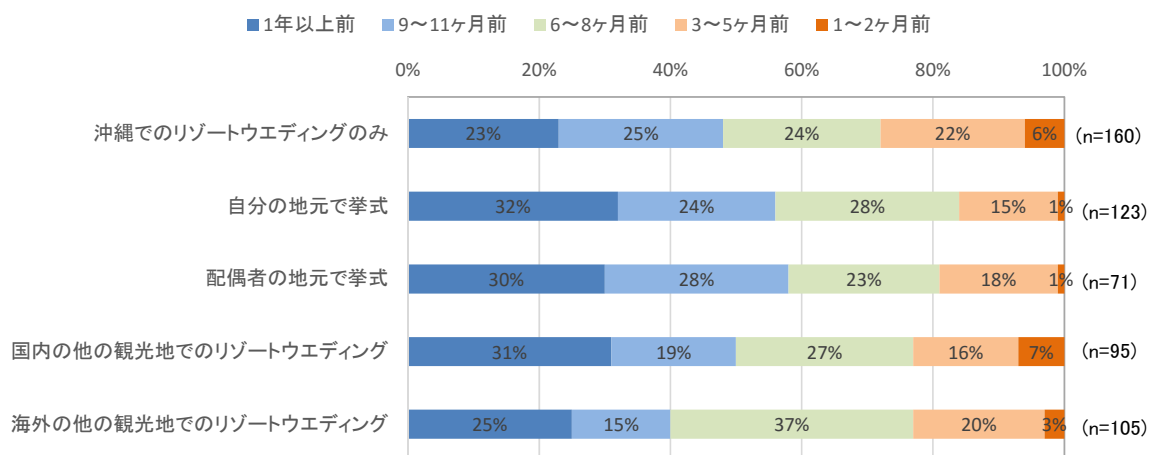
(図表 10) 挙式の候補地検討状況



※複数回答、比率は回答者に対する割合

- ・ 「沖縄でのリゾートウエディングのみ」を検討していた方は、「自分の地元で挙式」や「配偶者の地元で挙式」を検討していた方に比べて、挙式の 8ヶ月前からの検討が多くなっています。

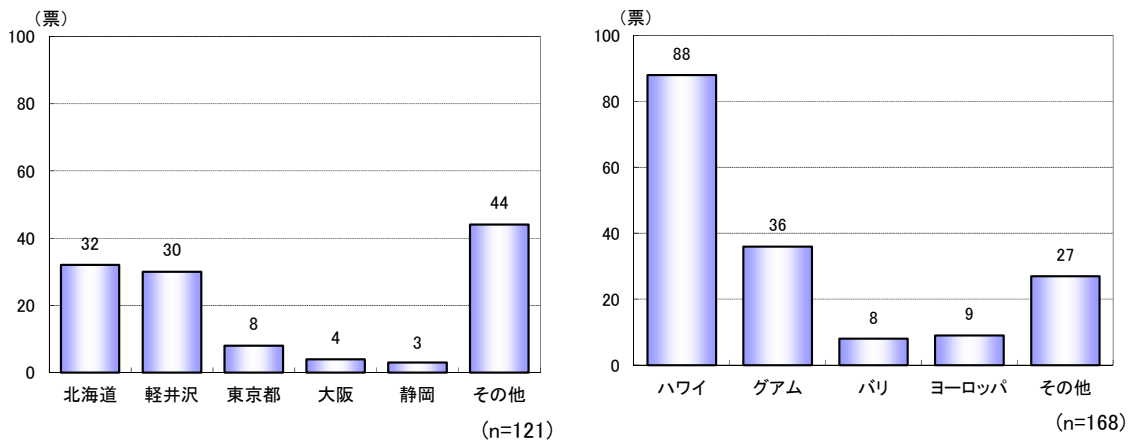
(図表 11) 沖縄以外の挙式検討状況と式場の検討時期との関係



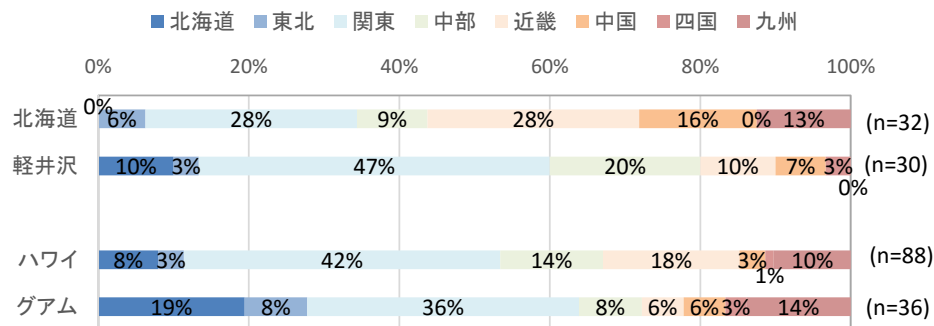
②沖縄以外の候補地（具体の場所）

- ・沖縄以外での挙式の候補地として、国内では「北海道」が32票、「軽井沢（長野県）」が30票と、沖縄と気候風土が異なる地域があげられており、その他として「横浜、鎌倉、湘南（神奈川県）」「八ヶ岳（長野県）」などがあげられています。
- ・一方、海外は「ハワイ（米国）」が88票と最も多く、次いで「グアム（米国）」が36票となっており、沖縄と似た気候のリゾート地が候補としてあげられており、「その他」としては、「オーストラリア」「モルジブ」「バリ（インドネシア）」などがあげられています。
- ・沖縄以外の候補地と、挙式検討時の居住地との関係を見てみると、「北海道」は、過半数が近畿以西に居住している方が検討しているのに対し、「軽井沢」は約半数が関東居住者、8割が中部以東の居住者となっており、居住地が東日本の方が多くなっています。
- ・また、海外の候補地については、「ハワイ」は関東や近畿が多いのに対し、「グアム」は関東に次いで、北海道や九州などが多くなっています。その要因としてハワイ便（直行便）が就航している空港が成田、羽田など限られているのに対し、グアム便（直行便）は新千歳、福岡などの空港で就航していることがあげられます。

(図表12) 沖縄以外の候補地（左：国内、右：海外）



(図表13) 沖縄以外の候補地と検討時の居住地の関係



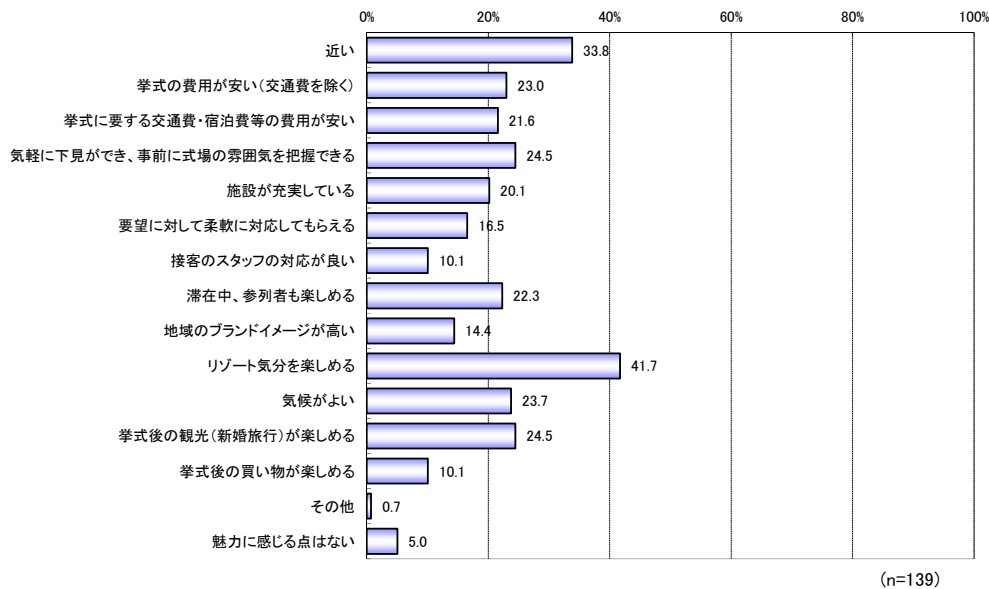
(図表14) 居住地別のハワイ・グアムへの直行便の就航状況（国内の航空会社のみ）

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
ハワイ			●	●	●			
グアム	●	●	●	●	●	●		●

### ③国内の他の候補地で沖縄より魅力を感じる点

- ・他の候補地で、沖縄より魅力を感じる点として、国内では「リゾート気分を楽しめる」が41.7%と最も多くなっています。
- ・一方、「接客のスタッフの対応が良い」「挙式後の買い物が楽しめる」については、他と比べて低い割合となっています。

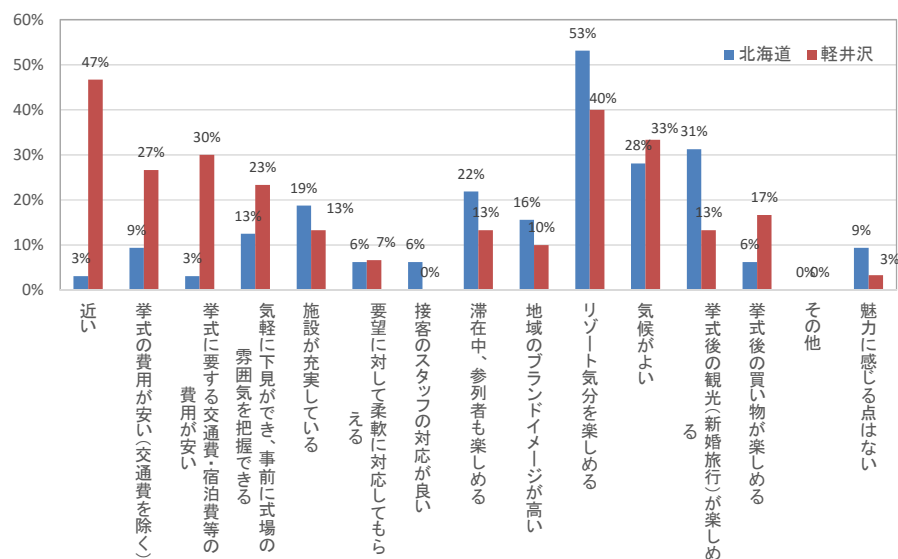
(図表15) 沖縄より魅力を感じる点 (国内の他の候補地)



※複数回答、比率は回答者に対する割合

- ・国内のライバルである北海道、軽井沢をみると「リゾート気分が楽しめる」のほか、北海道は「挙式後の観光(新婚旅行)が楽しめる」「気候がよい」、軽井沢は「近い」「気候がよい」と評価する方が多く、立地条件に関する項目が、沖縄より魅力を感じている方が多くなっています。

(図表16) 沖縄より魅力を感じる点 (北海道・軽井沢)

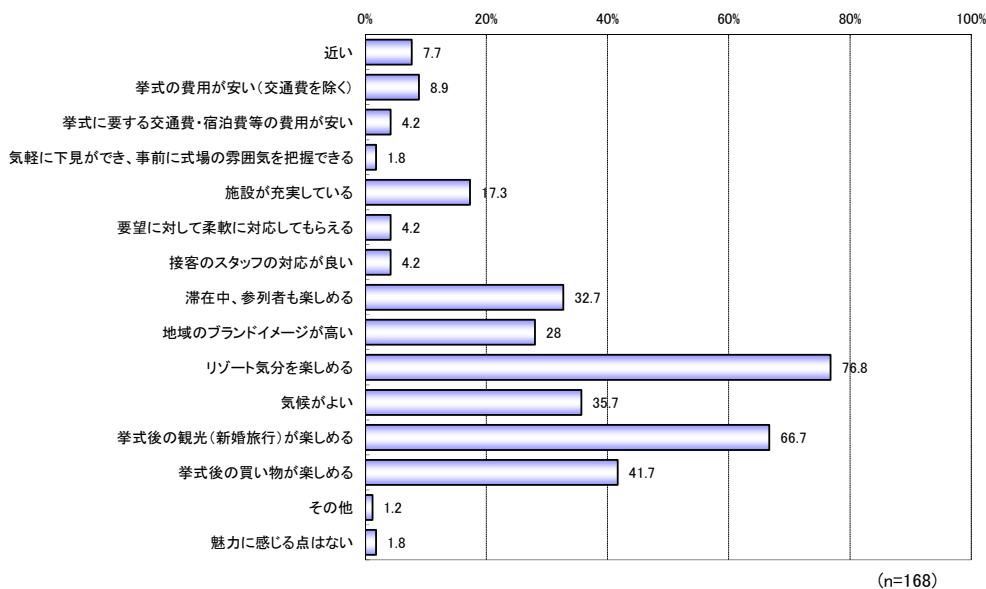


※複数回答、比率は回答者に対する割合

#### ④海外の他の候補地で沖縄より魅力を感じる点

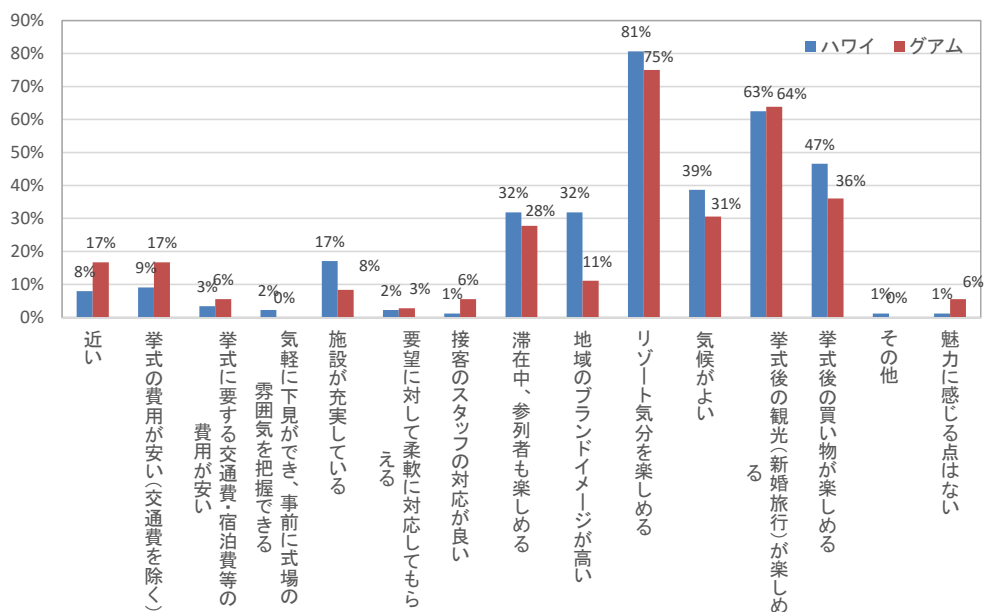
海外の候補地では「リゾート気分が楽しめる」が76.8%、「挙式後の観光（新婚旅行）が楽しめる」が66.7%と非常に多くなっています。

(図表17) 沖縄より魅力を感じる点 (海外の他の候補地)



※複数回答、比率は回答者に対する割合

(図表18) 沖縄より魅力を感じる点 (ハワイ・グアム)

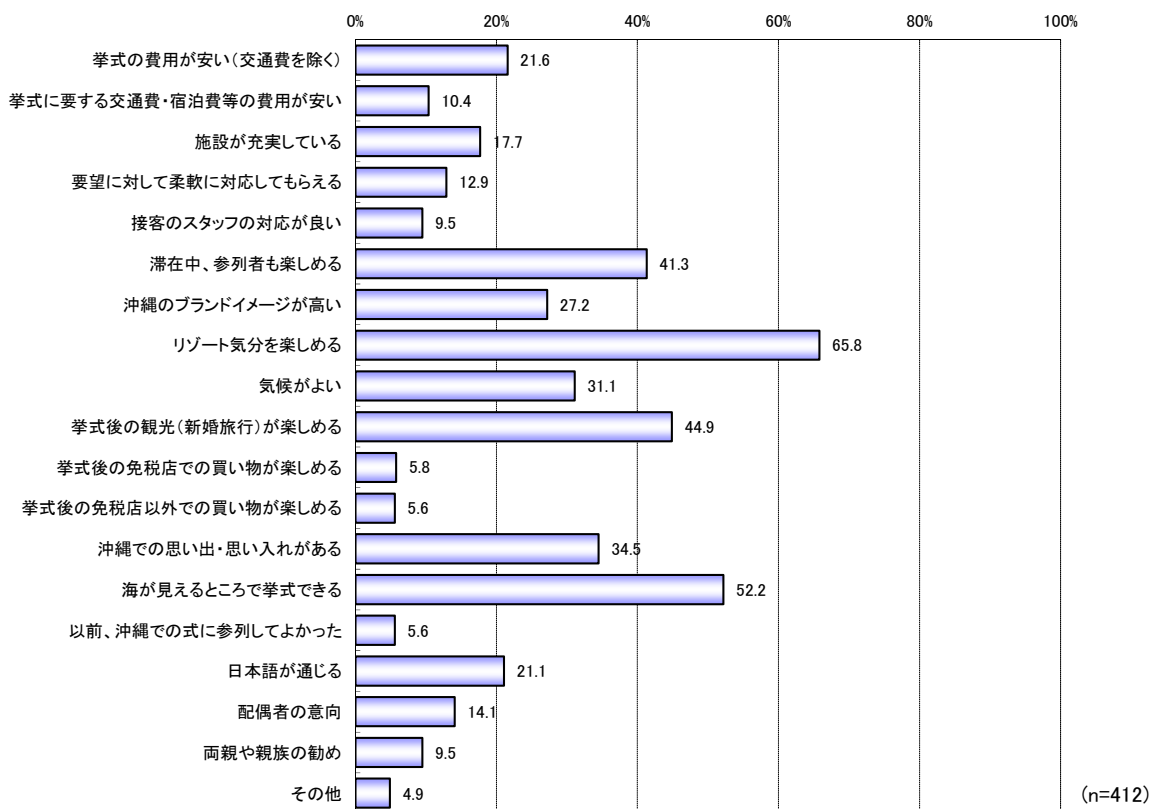


※複数回答、比率は回答者に対する割合

(6) 沖縄での挙式決定要因

- ・ 沖縄で挙式した要因としては、「リゾート気分を楽しめる」が65.8%と最も多く、次いで「海が見えるところで挙式できる」が52.2%、「挙式後の観光（新婚旅行）が楽しめる」が44.9%、「滞在中、参列者も楽しめる」が41.3%、「沖縄での思い出・思い出がある」が34.5%となっています。

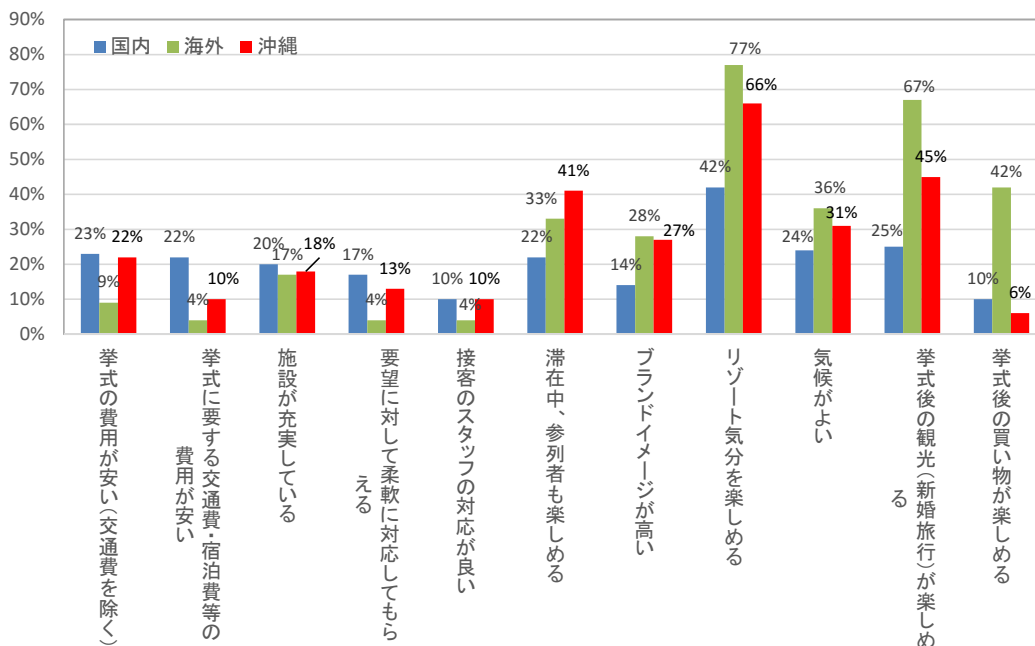
(図表19) 決定要因



※複数回答、比率は回答者に対する割合

- 一方、国内や海外の他の候補地で沖縄より魅力を感じる点として、「リゾート気分を楽しめる」が多くなっているものの、その方々も沖縄でリゾートウエディングを挙げていることから、国内においては、「挙式後の観光（新婚旅行）が楽しめる」「滞在中、参列者も楽しめる」、海外においては、「挙式の費用が安い（交通費を除く）」「要望に対して柔軟に対応してもらえる」などの魅力も、沖縄での挙式の決定要因となっていることが推察できます。

(図表 20) 国内・海外の候補地と沖縄の魅力の比較



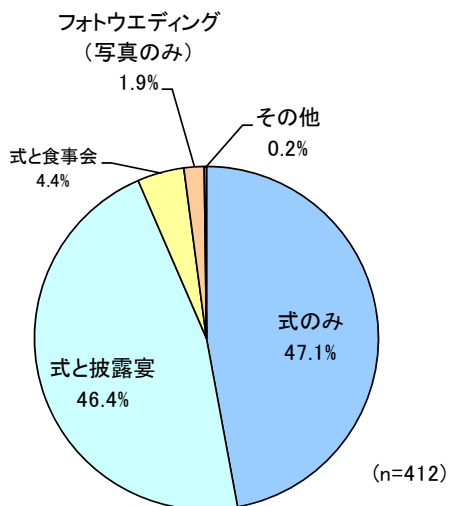
※複数回答、比率は回答者に対する割合

## 2-3. 挙式の概要

### (1) 挙式の形態

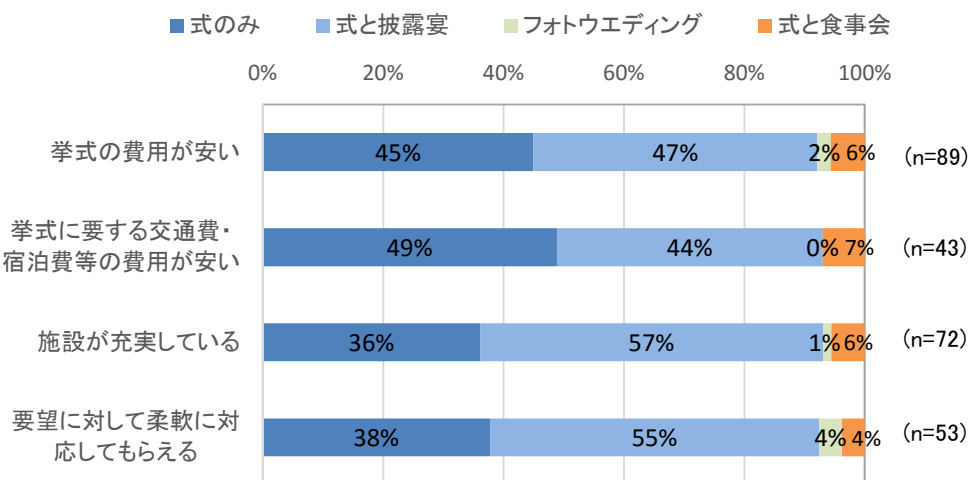
- ・ 挙式の形態としては「式のみ」が47.1%、「式と披露宴」が46.4%とほぼ半々を占めており、「フォトウエディング（写真のみ）」は1.9%と少なくなっています。「その他」のうち、「式と食事会」が4.4%となっています。

(図表 2 1) 挙式の形態



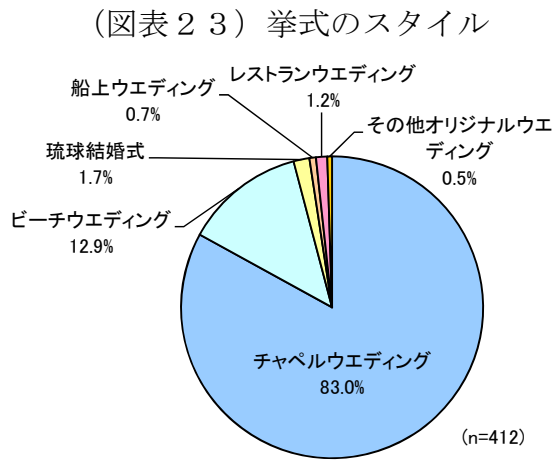
- ・ また、沖縄での挙式決定要因と挙式形態との関係を見てみると、「挙式に要する交通費・宿泊費等の費用が安い」を決定要因としてあげた方は、「式のみ」を行った方が49%とやや多く、一方、「施設が充実している」「要望に対して柔軟に対応してもらえる」を決定要因としてあげた方は、55~57%が「式と披露宴」を行っており、式場のサービス水準の高さが沖縄で「式と披露宴」を行う一因になっていることがうかがえます。

(図表 2 2) 沖縄での挙式決定要因と挙式形態との関係

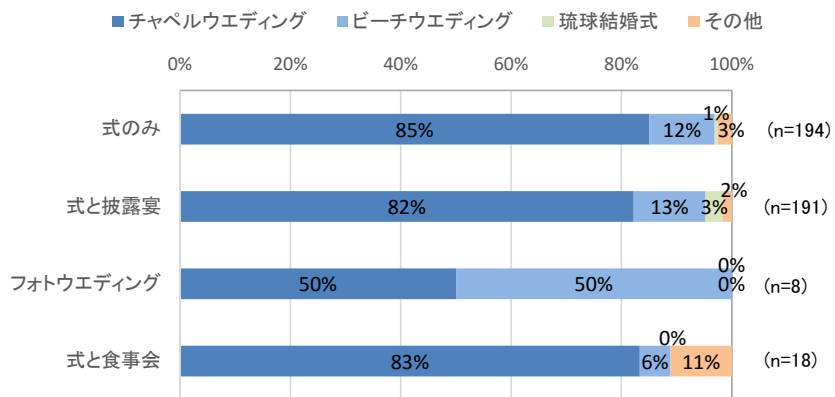


(2) 挙式のスタイル

挙式のスタイルは「チャペルウェディング」が83.0%と大半を占めており、次いで「ビーチウェディング」が12.9%となっています。



(図表 2 4) 挙式形態とスタイルの関係

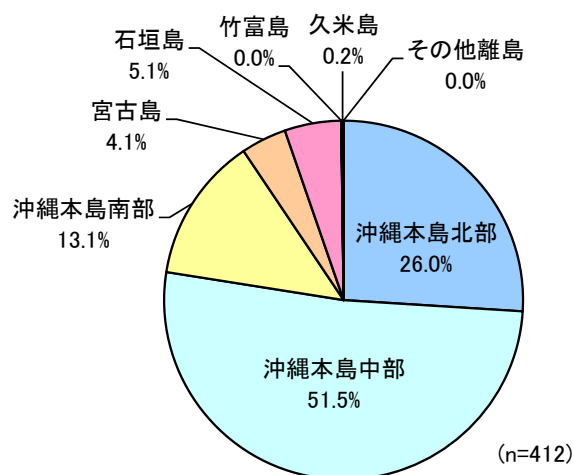




### (3) 挙式場所

- ・ 挙式場所は「沖縄本島中部」が51.5%と最も多く、次いで「沖縄本島北部」26.0%、「沖縄本島南部」13.1%の順になっています。
- ・ 離島での挙式もみられ、回答者の5.1%が「石垣島」で、4.1%が「宮古島」で行っています。

(図表25) 挙式場所

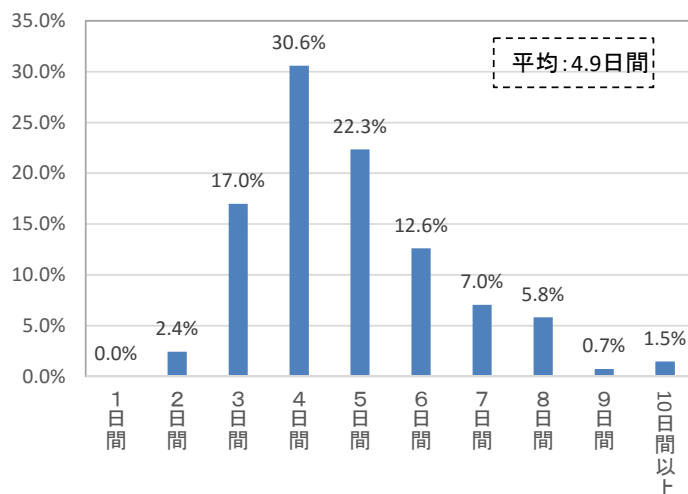


#### (4) 挙式時の滞在日数

##### ①新郎新婦

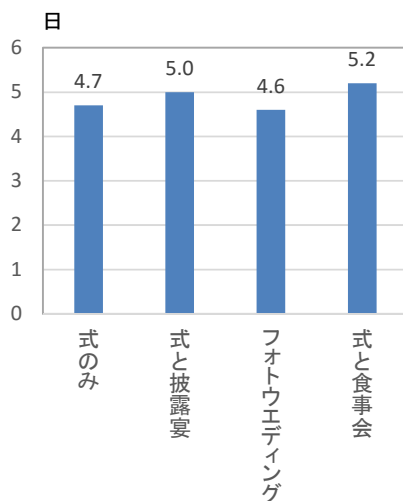
- ・新郎新婦の滞在日数は、「4日間」が30.6%と最も多く、次いで「5日間」22.3%、「3日間」17.0%の順になっています。
- ・平均の滞在日数は4.9日間であり、15%の方は1週間以上滞在しています。

(図表 2 6) 新郎新婦の滞在日数



- ・挙式別の新郎新婦の平均滞在月数は、「式と食事会」が5.2日、「式と披露宴」が5.0日、「式のみ」が4.7日、「フォトウェディング」が4.6日となっています。

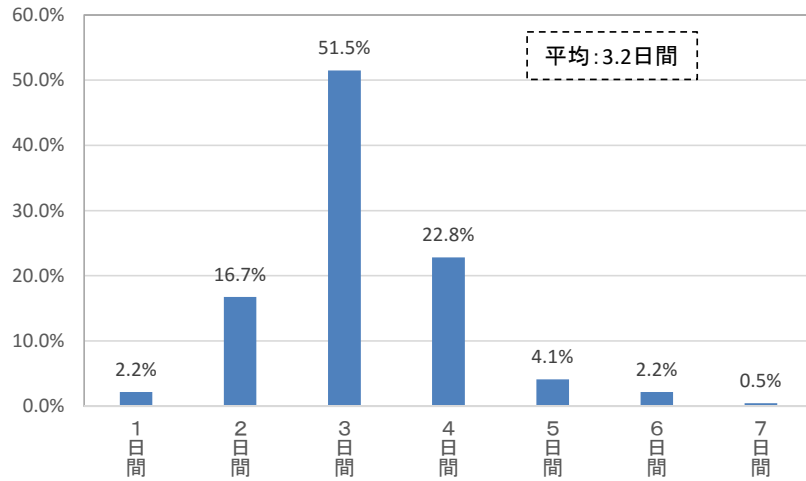
(図表 2 7) 挙式形態別の新郎新婦の平均滞在日数



②参列者

- ・参列者の沖縄滞在日数は「3日間」が51.5%と半数を占め、「4日間」22.8%、「2日間」16.7%の順になっています。
- ・平均の滞在日数は3.2日間であり、2.2%の方は日帰り（1日間）となっています。

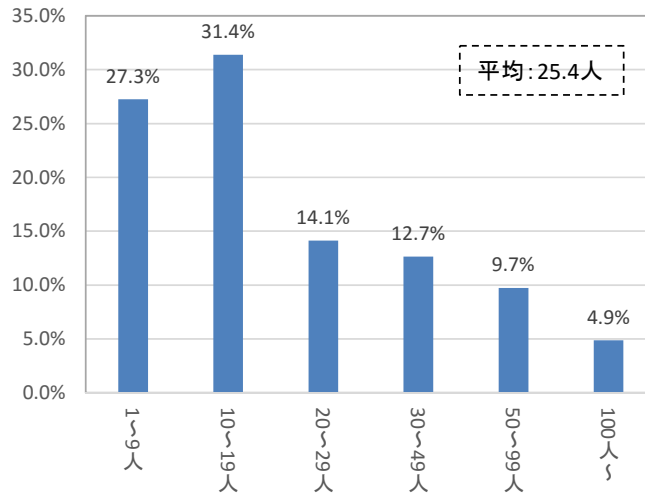
(図表 2 8) 参列者の滞在日数



(5) 参列者の数

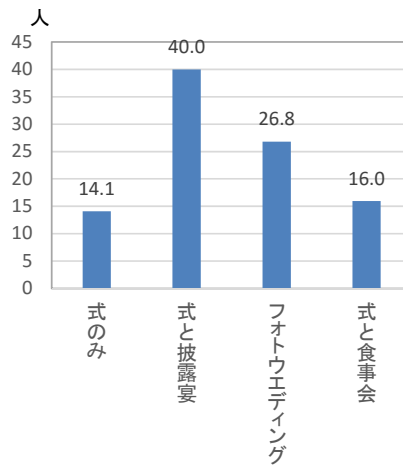
- ・リゾートウエディングの参列者の数は、「10～19人」が31.4%、「1～9人」が27.3%と少人数の参列者数が多く、参列者数20人未満が全体の58.7%を占めています。

(図表29) 参列者の数



- ・平均の参列者数は25.4人であり、挙式形態別の平均参列者は、「式と披露宴」が40.0人と多く、「式のみ」が14.1人と少なくなっています。

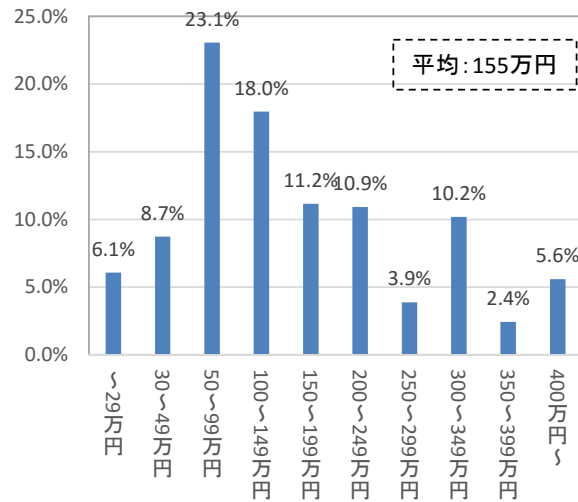
(図表30) 挙式形態別の平均参列者数



(6) 挙式費用

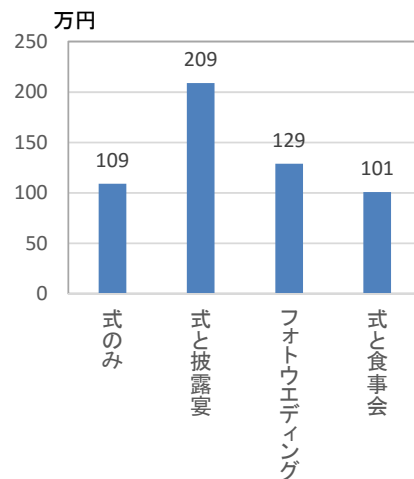
- ・「50～99万円」が23.1%と最も多く、次いで「100～149万円」18.0%、「150～199万円」11.2%の順になっています。

(図表 3 1) 挙式費用



- ・平均の挙式費用は155万円であり、挙式形態別では「式と披露宴」が平均209万円と高く、「式と食事会」が平均101万円と低くなっています。

(図表 3 2) 挙式形態別の平均挙式費用

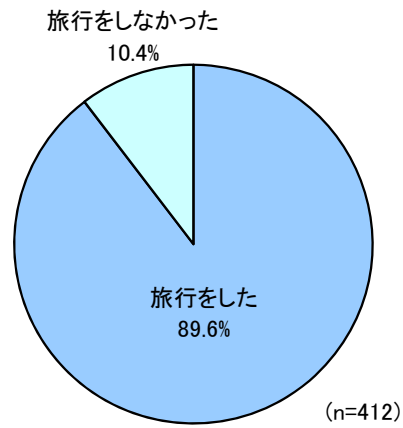


### 3. 挙式後の滞在状況

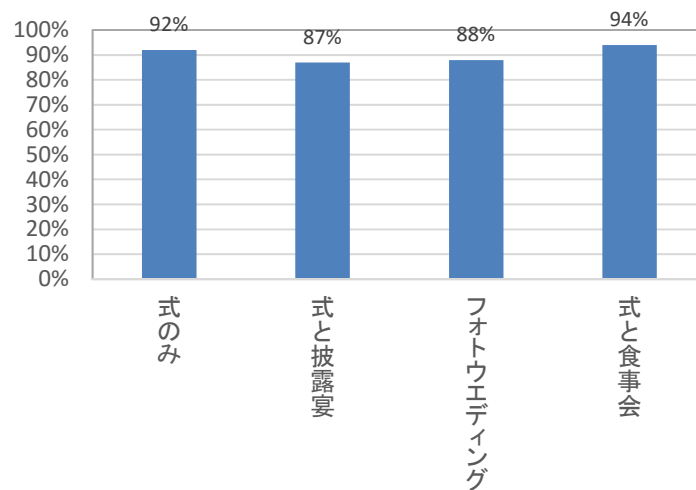
#### 3-1. 挙式後の沖縄旅行の有無

挙式後の沖縄旅行を行った方の割合は89.6%と非常に高く、ほとんどの方は挙式後に新婚旅行を行っています。

(図表 3 3) 挙式後の沖縄旅行の有無



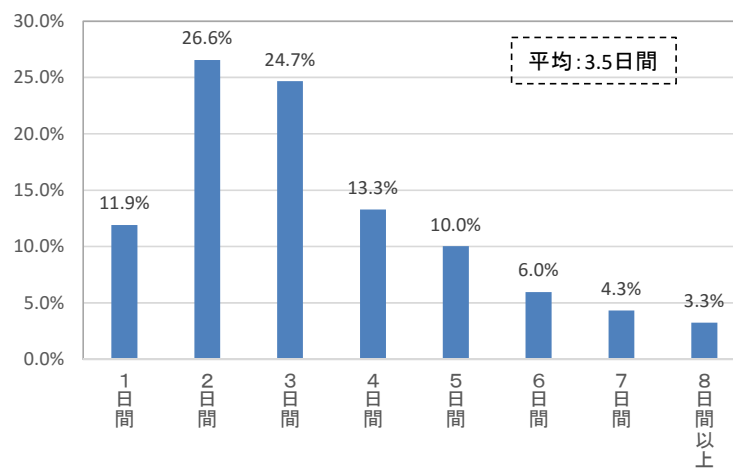
(図表 3 4) 挙形態別の挙式後に沖縄旅行を行った方の割合



### 3-2. 旅行日数

挙式後の新郎新婦の沖縄旅行の日数は、「2日間」が26.6%、「3日間」が24.7%となっており、平均の沖縄旅行日数は3.5日間となっています。

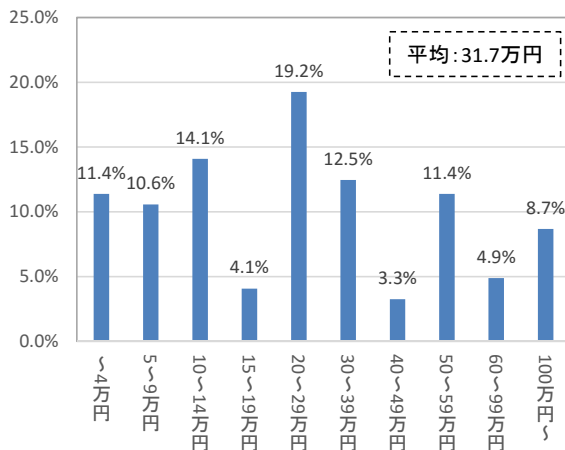
(図表35) 沖縄旅行の日数



### 3-3. 旅行費用

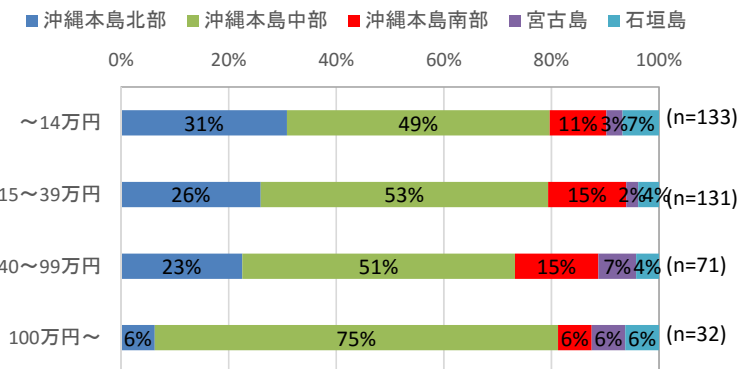
- ・ 挙式後の沖縄旅行の費用は 20～29 万円が最も多く、平均の旅行費用は 31.7 万円と なっています。

(図表 3 6) 挙式後の沖縄旅行の費用



- ・ 挙式場所と旅行費用との関係を見てみると、沖縄本島中部での挙式者は、旅行費用を多くかける傾向にあり、旅行費用「100 万円～」の 75%は、沖縄本島中部での挙式者が占めており、一方、沖縄本島北部での挙式者は旅行費用をかけない傾向にあり、旅行費用「～14 万円」の 31%を占めています。

(図表 3 7) 挙式場所と挙式後の沖縄旅行の費用との関係





#### 4. リゾートウェディングの評価

##### 4-1. 参列者の評価

- ・参列者の評価は「とても良い」が63.6%、「やや良い」が27.2%とあわせて90.8%の方が良いという評価をしており、参列者の評価は高くなっています。
- ・一方、料理やドリンク、待ち時間の長さ、空港からの移動などに対する不満もあげられています。

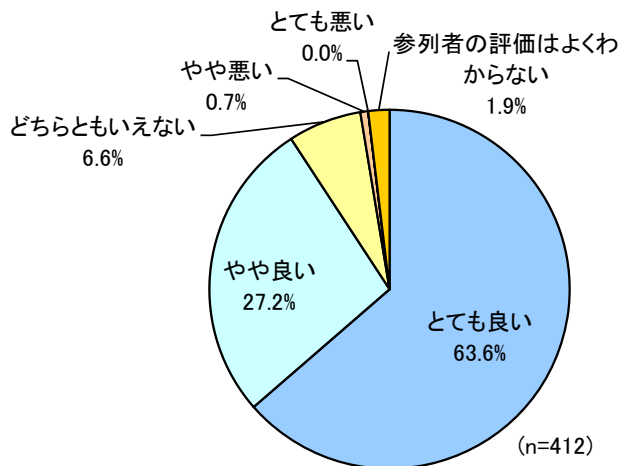
##### 【参列者からの主な不満・要望】

- ・料理やドリンクが良くなかった(14)
- ・式と披露宴の間など待ち時間が長かった(7)
- ・空港からの移動が大変、レンタカーを運転しないとイケない(7)
- ・天気が悪かった(6)
- ・日差しが強かった(5)

##### 【その他】

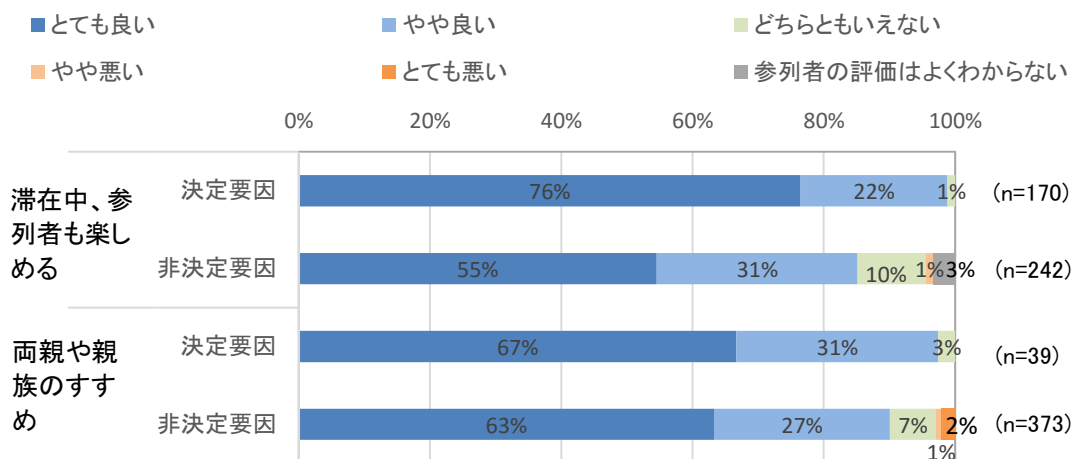
- ・特になし (304)
- ・わからない (6)

(図表38) 参列者の評価



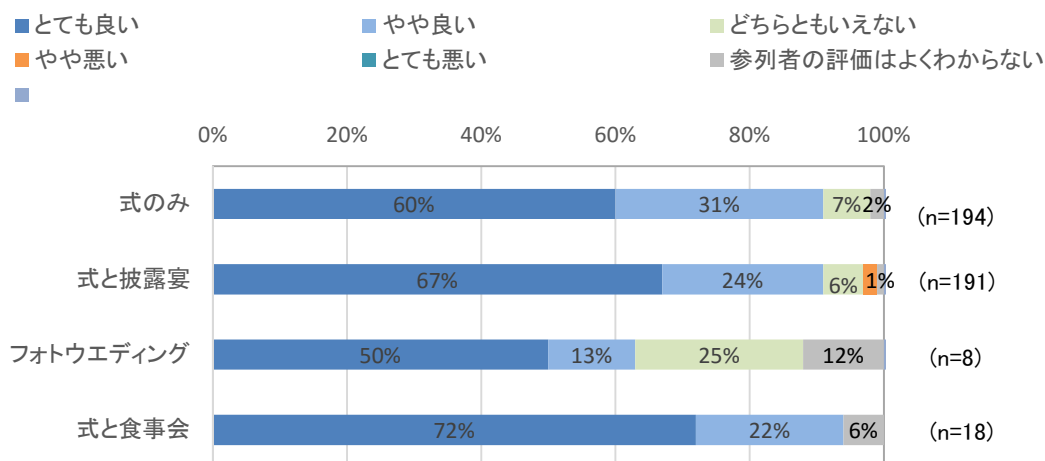
- ・参列者に関する沖縄での挙式の決定要因と参列者の評価の関係をみると、「滞在中、参列者も楽しめる」ことを沖縄での挙式の決定要因としてあげた方は、参列者の評価が高く、「とても良い」と回答した方が76%も占めています。

(図表39) 沖縄での挙式の決定要因と参列者の評価との関係



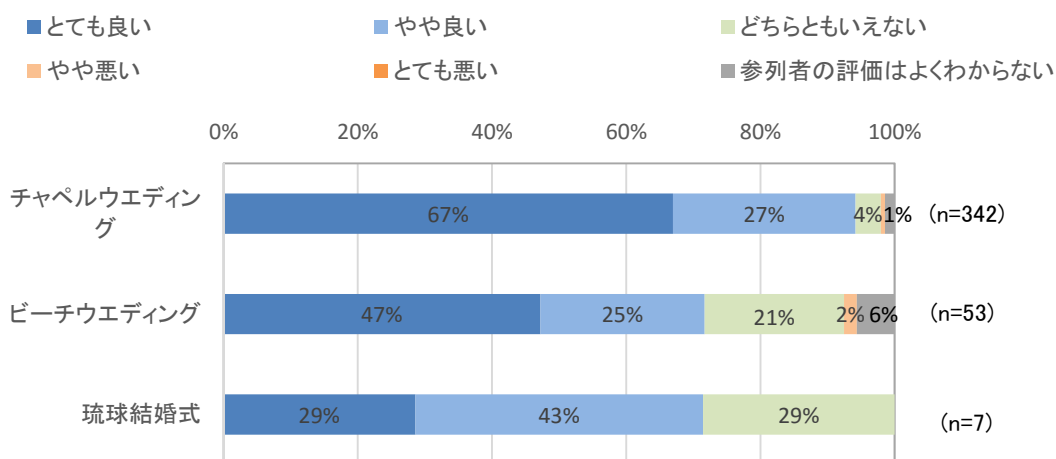
- ・ 挙式形態別の参列者の評価をみると、「とても良い」と回答した方の割合は、「式と食事会」が72%、「式と披露宴」が67%と、「式のみ」の60%、「フォトウエディング」の50%よりも高くなっています。

(図表 4 0) 挙式形態別の参列者の評価



- ・ また、挙式スタイル別の参列者の評価をみると、「とても良い」と回答した方の割合は、「チャペルウエディング」が67%と、「ビーチウエディング」の47%、「琉球結婚式」の29%よりも高くなっており、参列者の評価が高くなっています。

(図表 4 1) 挙式スタイル別の参列者の評価



#### 4-2. リゾートウエディングの満足度

- ・沖縄でのリゾートウエディングについて、新郎新婦の61.1%が「とても満足」、33.3%が「やや満足」と回答しており、あわせて94.4%の方が満足しています。
- ・満足な点として、「楽しめた」「いい思い出になった」「新婚旅行も楽しめた」など新郎新婦本人が良かった点とともに、「参列者や家族が楽しめた」「家族旅行も出来た」など参列者も楽しめたことで満足と回答している方も多くなっています。
- ・一方、不満な点として、「天候が良くなかった」「メイク・音楽などのサービス」に対して不満の声が上がっています。

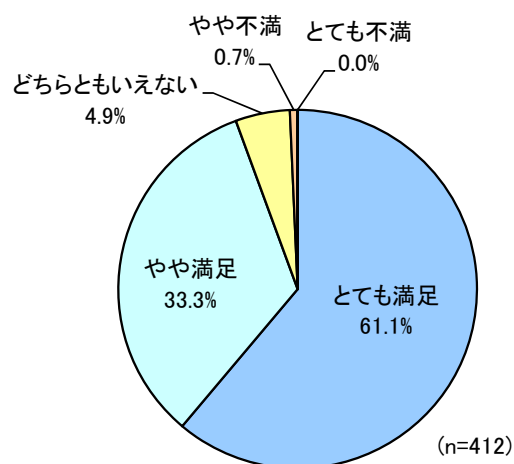
##### 【新郎新婦の満足な点】

- ・楽しかった、楽しめた(15)
- ・満足、満喫した(14)
- ・いい思い出になった(12)
- ・海や景色がきれいだった(11)
- ・参列者、家族が楽しめた(10)
- ・新婚旅行も楽しめた(10)
- ・家族旅行も楽しめた(10)
- ・親族、友人のみで気兼ねなく楽しめた(9)

##### 【新郎新婦の不満な点】

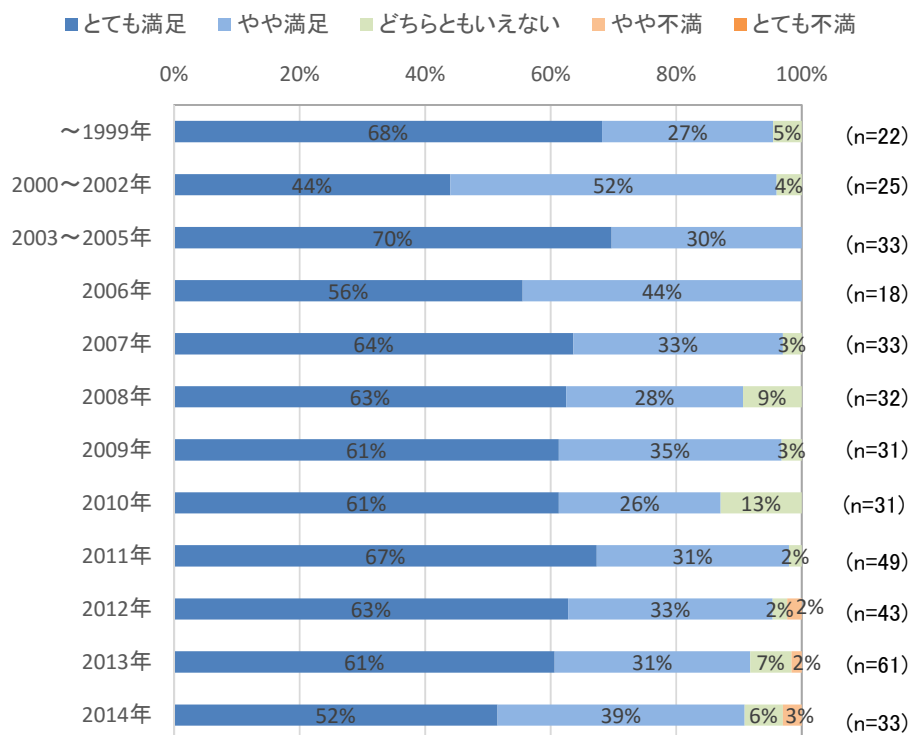
- ・天候が良くなかった(8)
- ・メイク、音楽などサービスのレベルが不十分だった(6)

(図表 4 2)  
「沖縄リゾートウエディング」の満足度



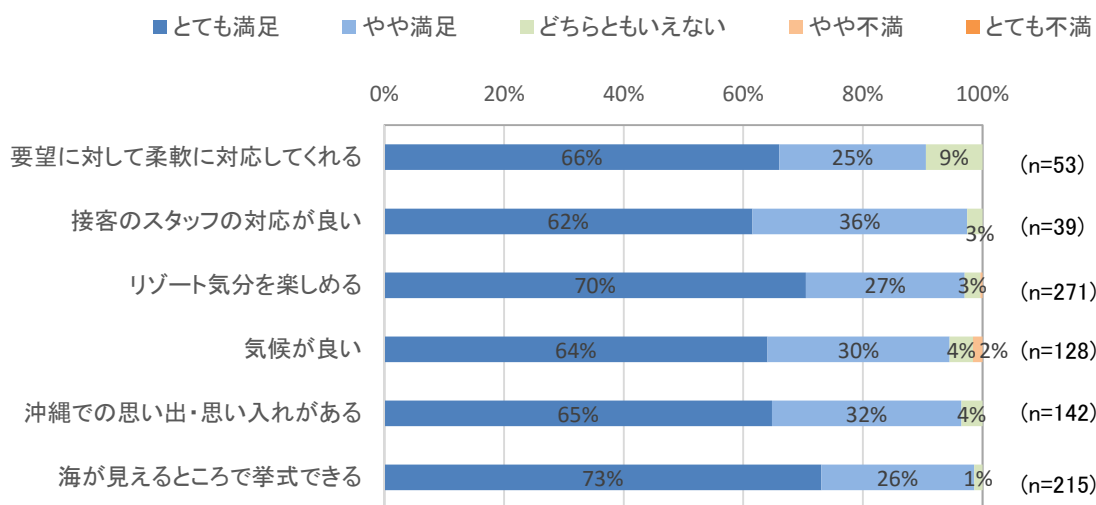
- ・ 挙式年毎の満足度の推移を整理すると、「とても満足」と回答した方の割合は、2000～2002年に44%へと低下したものの、その後、徐々に増加、2011年にはその割合が67%に増加し、2012年以降は低下傾向が続いています。

(図表 4 3) 挙式年毎の満足度



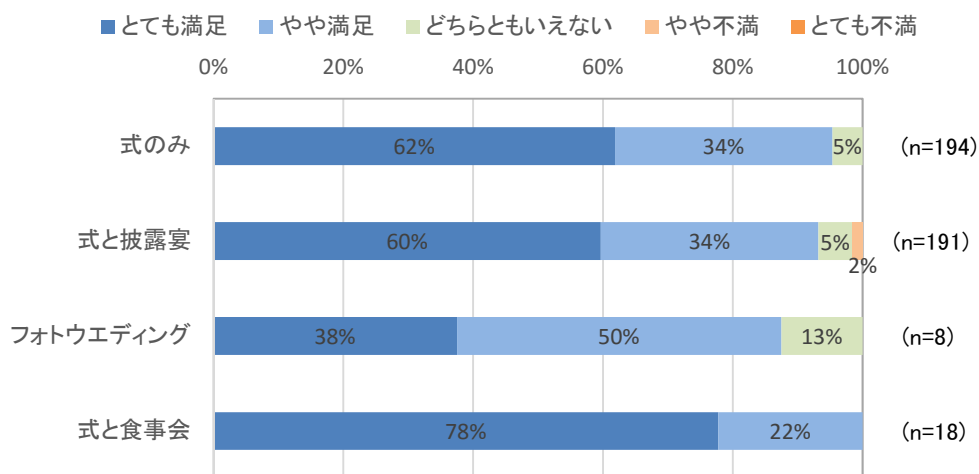
- ・ 沖縄での挙式の決定要因別の満足度をみてみると、決定要因として「リゾート気分を楽しめる」「海が見えるところで挙式できる」を挙げた方は、70%以上が「とても満足」と回答しており、沖縄の立地特性を重視して挙式した方の満足度が高くなっています。

(図表 4 4) 沖縄での挙式の決定要因別の満足度



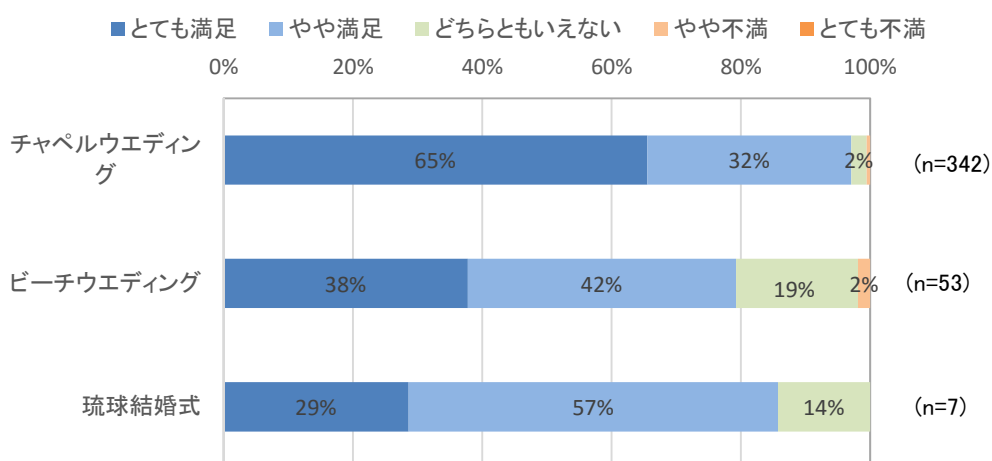
- ・挙式形態別の満足度をみると、「式と食事会」は78%の方が「とても満足」、22%の方「やや満足」と回答しており、非常に高い満足度となっております。
- ・また、「式のみ」「式と披露宴」ともに約6割の方が「とても満足」と回答しています。

(図表 4 5) 挙式形態別の満足度



- ・挙式スタイル別の満足度をみると、「チャペルウエディング」は65%が「とても満足」と回答しているのに対し、「ビーチウエディング」「琉球結婚式」は「とても満足」の回答者が38%、29%と「チャペルウエディング」に比べ低くなっています。

(図表 4 6) 挙式スタイル別の満足度



#### 4-3. リゾートウエディングへの不満・要望

「特に不満はない」という意見が多いなか、「天候が悪かった」「本土と沖縄の担当者の連絡不足」「メイク・髪型などに対する不満」があげられています。

##### 【主な不満・要望】

- ・天候が悪かった (47)  
→ 具体の不満等：ビーチで撮影が出来なかった、天候のため髪型が希望通りにならなかった等
- ・本土の代理店と現地の式場の連携がとれていなかった (19)
- ・海に入ったり、マリンスポーツも楽しめたかった (16)
- ・打ち合わせが十分出来なかった (7)
- ・メイクや髪型が思ったようにならなかった (7)
- ・費用が高かった (5)

##### 【その他】

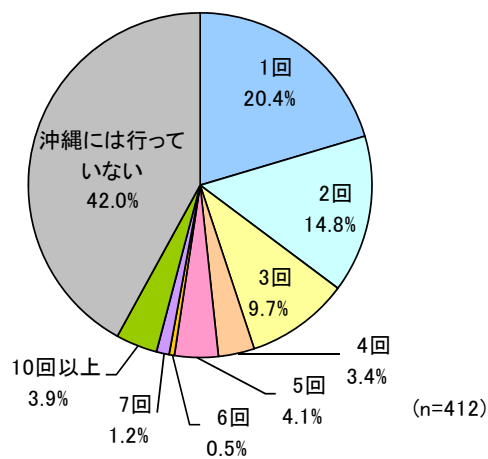
- ・特になし (180)
- ・満足した、希望通りだった (22)
- ・施設スタッフの対応に満足 (5)

## 5. リゾートウエディングによる波及効果

### 5-1. 挙式以降の沖縄への訪問回数

挙式者の約6割が、挙式以降も沖縄を訪問しています。

(図表 4 7) 挙式以降の沖縄への訪問回数

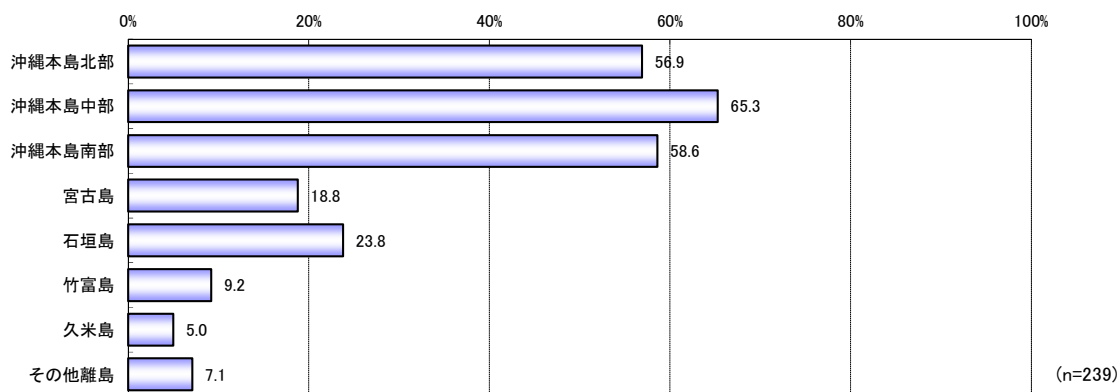


※ 「8回」、「9回」の該当者はなし。

## 5-2. 挙式以降の沖縄での訪問先

- ・ 挙式以降に沖縄を訪れた方の訪問先は、「沖縄本島中部」が65.3%、「沖縄本島南部」が58.6%、「沖縄本島北部」が56.9%と沖縄本島への訪問が多く、一方で、「石垣島」23.8%、「宮古島」18.8%、「竹富島」9.2%と沖縄本島以外の離島への立ち寄りもみられます。

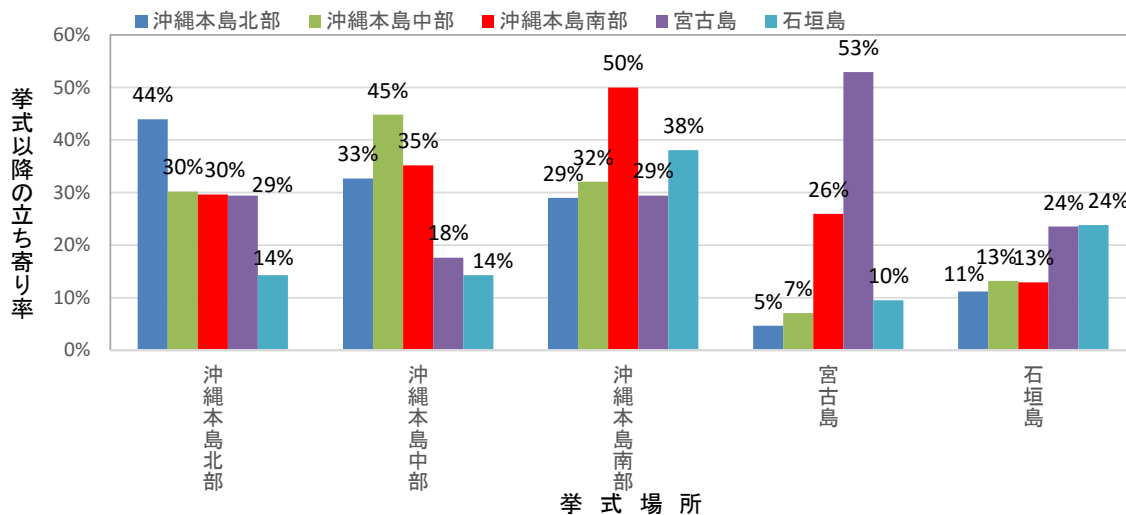
(図表4-8) 挙式以降の沖縄旅行で訪れた地域の割合 (挙式以降の来訪者のみ)



※複数回答、比率は回答者に対する割合

- ・ 挙式場所と挙式以降の地域別の立ち寄り状況を見てみると、各地域とも挙式をあげた場所への立ち寄り率が高くなっており、挙式者は挙式以降も同じところを訪れる傾向があることがうかがえます。特に、宮古島は挙式を行った方の53%が挙式後も再び訪れており、リピート率が高くなっています。
- ・ 挙式以降も沖縄に訪れている方の割合は、沖縄本島で挙式した方が高く、沖縄本島挙式者でも挙式以降に宮古島や石垣島に14~38%の方が訪れています。
- ・ 石垣島で挙式した方は、挙式後の沖縄本島への立ち寄り率が低く、石垣島での挙式者の沖縄本島への立ち寄り率は11~13%に過ぎないものの、宮古島、石垣島への立ち寄り率は24%と沖縄本島の2倍に達しています。

(図表4-9) 挙式場所別の挙式以降の立ち寄り率



※複数回答、比率は回答者に対する割合



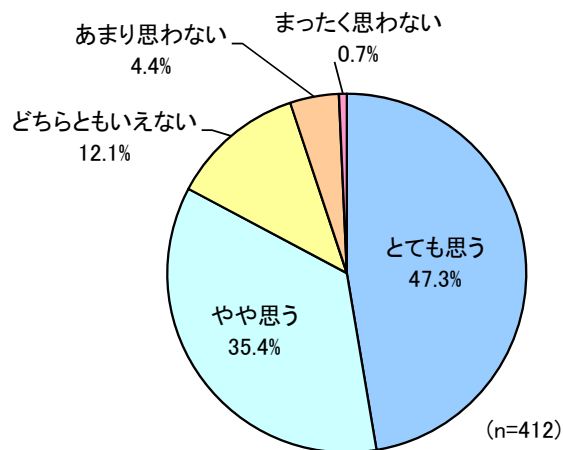
### 5-3. 沖縄での祝い事実施意向

- ・将来、お祝い事（結婚記念日、子どもの誕生日、退職祝い等）を沖縄でしてみたいと思っている方は、「とても思う」「やや思う」を合わせて約8割となっています。
- ・具体的には、結婚記念日や銀婚式、子供の誕生日、退職祝いなどの祝い事その他、式場の再訪問などがあります。

【沖縄で行ってみたい主な祝い事など】

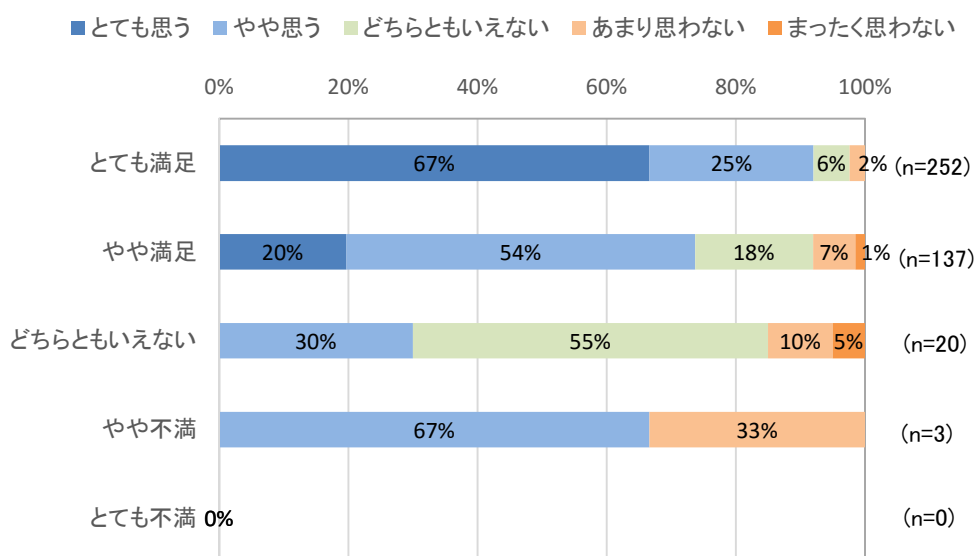
- ・結婚記念日(27)
- ・結婚10周年(14)
- ・挙式場所の訪問(11)
- ・挙式したホテルでの宿泊旅行(10)
- ・銀婚式(5)
- ・子供の誕生日(5)
- ・退職祝い(5)

(図表50) 沖縄での祝い事の実施意向



- ・リゾートウエディングの満足との関係性をみると、「とても満足」と回答した方の67%は、沖縄での祝い事実施に対し「とても思う」と回答しており、リゾートウエディングの高い満足度が、今後の沖縄での祝い事の実施意向につながっていることがうかがえます。

(図表51) リゾートウエディングの満足度と沖縄での祝い事の実施意向



5-4. 知人への「沖縄リゾートウエディング」の勧誘意向

- ・知人へ「沖縄リゾートウエディング」を勧めてみたいと思っている方は、「とても思う」「やや思う」を合わせて約8割となっています。
- ・勧める方の理由としては、「リゾート感が楽しめる」「とても思い出に残る」「旅行も楽しめる」が多くあげられています。
- ・勧めない方の理由としては、「好みがあるから」「天候に左右される」「費用が高い」等があげられています。

【主な勧める理由】

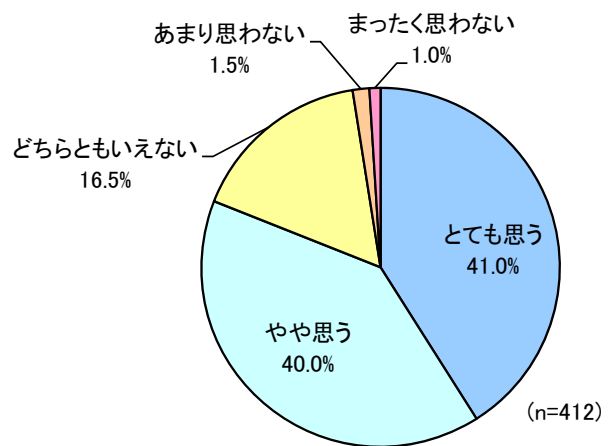
- ・リゾート感が楽しめる(29)
- ・とても思い出に残る(20)
- ・旅行も楽しめる(19)

【主な勧めない理由】

- ・人それぞれ好みがある(9)
- ・天候に左右される(4)
- ・費用が高い(4)

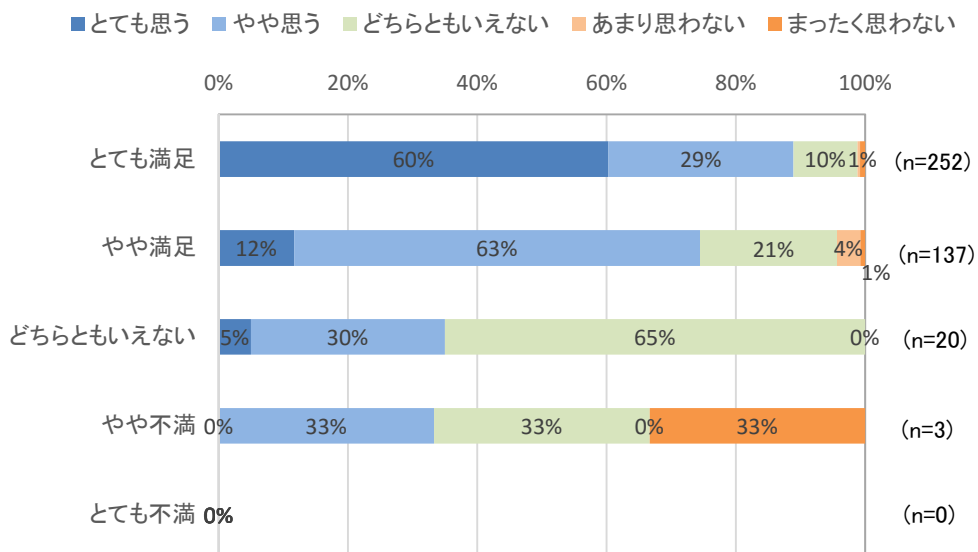
(図表 5 2)

「沖縄リゾートウエディング」の知人への勧誘意向



- ・また、リゾートウエディングの満足度と知人への勧誘意向をみると、「とても満足」と回答した方の60%は、知人への勧誘について「とても思う」と回答しており、高い勧誘意向を示しています。

(図表 5 3) リゾートウエディングの満足度別の知人への勧誘意向



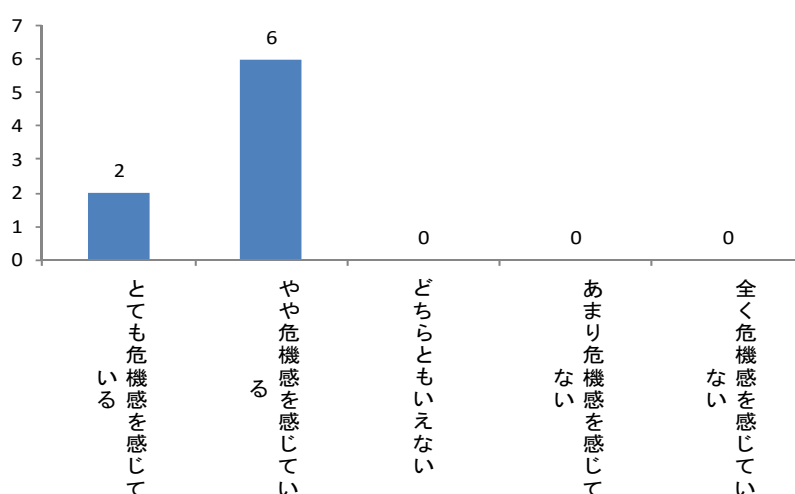
## II-2. 一般社団法人沖縄リゾートウェディング協会会員に対する調査

一般社団法人沖縄リゾートウェディング協会会員企業（42社）のうち、ウェディングプロデュースやホテルを運営する9社に対して、沖縄リゾートウェディングの現状や挙式者のニーズ等について調査を行いました。

### 【沖縄リゾートウェディングの現状等について】

国内では、進展する少子高齢化による若年人口の減少、未婚率の上昇や挙式しない婚者の増加など、リゾートウェディングを取り巻く環境が厳しくなっている状況についてきいたところ、8社（1社は未回答）が危機感を感じています。

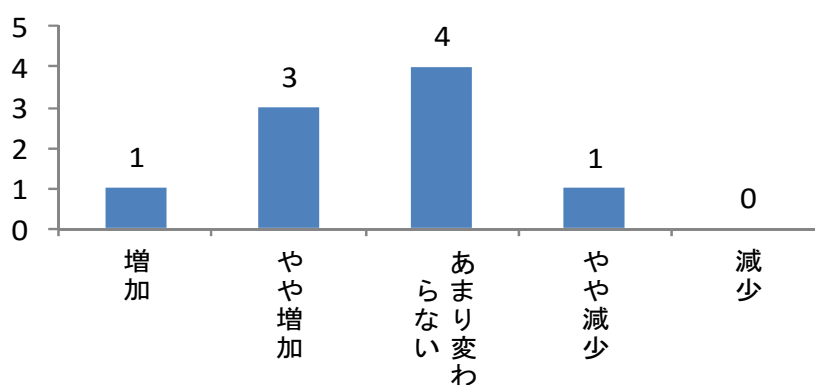
(図表55) リゾートウェディングを取り巻く環境について



ところが、リゾートウェディングの挙式者数の今後の見通しをきいたところ、「あまり変わらない」が最も多く、次いで「やや増加」となっています。

これは、上記のリゾートウェディングを取り巻く危機感に対して、「新たなオリジナル商品の造成などに取り組んでいる」「今後、海外顧客の割合を増やしていかないといけない」という事業者がいることなどから、今後の見通しを「あまり変わらない」や「やや増加」等としたものと考えられます。

(図表54) リゾートウェディング挙式者の今後の見通し



今後、リゾートウェディングを運営していくにあたっての懸念や問題点についてきいたところ、増加傾向にある海外顧客への対応として、「外国語（英語、中国語）対応スタッフ」や「カメラマン等の技術職の確保」があげられています。

リゾートウェディング以外にも、県外客向けのサービスとして「記念日に宿泊が出来るプラン」や「アニバーサリーウェディング」等を用意している事業者がいます。

#### 【挙式者のニーズについて】

平成25年における挙式は、日本人が9割超となっています。

リゾートウェディングの場所は、「チャペル」が最も多く約8割で、次いで「ホテル」「ビーチ」となっています。

日本人・外国人共通で、「海が見えるチャペルで挙式したい」と海の眺望に関する要望があげられています。

特に、外国人からは、「チャペル内で写真をもっと多く撮りたい」や「言語対応できるスタッフの在・不在の明確化」など写真や言語対応に関する要望が上げられております。

また、「ホテル周辺のアクセス手段の整備」などを求める意見もあります。

#### 【新たなニーズに対する取り組みについて】

写真にこだわりの強いお客さん向けの「フォトグラファー指名制度」や家族旅行に合わせて気軽に挙式できる「おきなわファミリー婚」※などに取り組んでいます。

※「おきなわファミリー婚」とは、結婚式を挙げていないカップルの方とご家族に結婚式と家族旅行を兼ねて絆を深める旅とセレモニーを思い出に、旅行がてら普段着でできる挙式スタイルのこと。「おきなわファミリー婚」には、県内の婚礼事業社が参加しており、サイト上で各社が運営する10のチャペルの中から好みの式場を選び空き状況を確認のうえ、仮予約ができる。



資料：一般社団法人沖縄リゾートウェディング協会

### Ⅲ. まとめ

#### Ⅲ-1. リゾートウエディングに関する調査（WEBアンケート調査）について

##### 【リゾートウエディングの検討状況】

リゾートや観光地で挙式を挙げてみたいと思ったきっかけは、「挙式サービス事業会社のWEBサイト」が最も多く、次いで「女性雑誌・ファッション雑誌」「友人・知人のクチコミ」「ブライダルフェア」となっています。

実際に、リゾートウエディングを検討する際、式場の情報源として「結婚情報誌」「式場のWEBサイト」が多く利用されています。

具体的にリゾートウエディングを検討し始めた時期は、「挙式の6～8ヶ月前」が最も多く、「挙式の1年以上前」から検討していた方も約1/4を占めています。

挙式の場所については、約4割の方が「沖縄でのリゾートウエディング以外は考えていなかった」となっています。

国内の他の観光地では北海道、軽井沢（長野県）、海外ではハワイ（米国）、グアム（米国）がリゾートウエディングのライバルとしてあげられています。

沖縄での挙式決定要因としては、「リゾート気分を楽しめる」が最も多く、次いで「海が見えるところで挙式できる」「挙式後の観光（新婚旅行）が楽しめる」「滞在中、参列者も楽しめる」となっています。

##### 【リゾートウエディングの挙式状況】

挙式形態は「式のみ」「式と披露宴」が半々で、挙式スタイルは「チャペルウエディング」が大半を占めています。

挙式の場所は、「沖縄本島中部」が最も多く、次いで「沖縄本島北部」「沖縄本島南部」となっています。

新郎新婦の滞在日数は平均4.9日間であり、1週間以上滞在している方もいます。参列者の数は平均25.4人、挙式費用は平均155万円となっています。

##### 【挙式後の沖縄旅行】

約9割の方が挙式後に沖縄旅行（新婚旅行）を行っており、平均の旅行日数は3.5日間、旅行費用は31.7万円となっています。

##### 【リゾートウエディングの満足度】

「とても満足」「やや満足」を合わせて9割超が満足しています。

挙式形態別では、新郎新婦、参列者ともに「式と食事会」の満足度が高く、挙式スタイル別では「チャペルウエディング」の評価が高くなっています。

不満な点としてあがったのは、新郎新婦からは「天候の悪さ」「本土の代理店と沖縄の式場の連携不足」など、参列者からは「料理やドリンクの味」「式と披露宴の待ち時間の長さ」「空港からの移動」となっています。

### 【リゾートウエディングによる波及効果】

挙式者の約6割が、挙式以降も沖縄を訪問しています。

将来、お祝い事（結婚記念日、子どもの誕生日、退職祝い等）を沖縄でしてみたいと思っている方は、「とても思う」「やや思う」を合わせて約8割となっています。

知人へ「沖縄リゾートウエディング」を進めてみたいと思っている方は、「とても思う」「やや思う」を合わせて約8割となっています。

### III-2. 「沖縄リゾートウエディング」の持続的な発展に向けて

「沖縄リゾートウエディング」の実施組数は、沖縄県、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューローが実施している国内外のプロモーション及び受入態勢の整備等の取り組みや一般社団法人沖縄リゾートウエディング協会などとの連携により、順調に推移しています。

県内においてチャペルやホテルなど挙式サービスを行うリゾートウエディング取扱事業者は、進展する少子高齢化による若年人口の減少、未婚率の上昇や挙式しない婚姻者の増加など国内におけるウエディングを取り巻く環境が厳しくなっていることに対して危機感を感じており、写真にこだわりの強い外国からのお客さん向けの「フォトグラファー指名制度」や旅行がてら普段着でできる「おきなわファミリー婚」など、新たなニーズに対する取り組みが展開されています。

今回のWEBアンケート調査において、「沖縄リゾートウエディング」を挙げた方の約4割が『沖縄でのリゾートウエディング以外は考えていなかった』ということから、沖縄は、国内におけるリゾートウエディングの地として認知度が高く、また、リゾートウエディングを挙げる上での動機付けの一つとして考えられる「リゾート気分を楽しむ」という魅力を有していることが、「沖縄リゾートウエディング」の実施組数が継続して増加してきた要因の一つと考えられます。

また、新郎新婦本人に加えて、参列者や家族も満足しており、「沖縄リゾートウエディング」の満足度は9割以上と高くなっており、さらには過半数の方が、挙式後も沖縄を訪問しており、「沖縄リゾートウエディング」が再訪のきっかけとなっていることがうかがえます。

ただ、「沖縄リゾートウエディング」のサービスや対応についての不満として、本土の代理店と現地の式場との連携や打ち合わせが不十分であったこと、当日のメイクや髪型に対する不満、さらには、参列者から料理やドリンク、待ち時間の長さ、空港からの移動などについて不満と感じた方もあり、今後も好調に推移させていくためには、リゾートウエディングの地としての沖縄の魅力を引き続きPRしていくとともに、新郎新婦との綿密な打ち合わせを行い、新郎新婦や参列者の挙式、披露宴とその後の旅行に対する要望をよく聞き取ることが大事ではないでしょうか。

また、参列者からの不満点としてあげられた「料理やドリンクの味」「式と披露宴の待ち時間の長さ」「空港からの移動」について、参列者の満足度を高めるための取り組みについて検討することも大事ではないでしょうか。

今後、国内では北海道、軽井沢などや海外ではハワイやグアムなどのリゾートウエディング地間競争の激化が予想されることから、リゾートウエディングの差別化を図る必要があると考えられます。その方策の一つとして、アンケートにおいて、「将来、お祝い事を沖縄で行いたい」との意向が8割を超えていることから、生涯にわたって、お客様との関係性の構築（木婚式（5周年）、錫婚式（10周年）、…、金婚式（50周年））を図っていくことが、沖縄観光の永続的な発展につながるのではないのでしょうか。